

県立多治見病院 緩和ケアチーム通信

発行：県立多治見病院緩和ケアチーム 2017年11月号 vol.80
文責：櫻井由美子・河村和代 編集：櫻田亜矢子

こんにちは。がん化学療法看護認定看護師の櫻井です。

今日は緩和ケアチームとして関わりのあるヨガ療法について少しお話しします。

一般社団法人 日本ヨガ療法学会のパンフレットによると、「ヨガ療法は伝統的なヨガを化学的な研究をもとに、一般の人や疾患を持つ人でも安全にできるように改良して作られた」と記載されています。治療を受けている患者さんが、少しでも気持ちや体の休まりを感じられるように、また自分の感情や思考に振り回されにくくなるために、月に1回セラピストの先生と一緒にヨガ療法を行っています。もちろん、「主治医の先生から行っていいですよ」と指示がいただけた患者さんになります。スペースも限られているので少人数で行っていますが、私もこの日を楽しみにしています。ご興味がありましたら櫻井までご連絡ください。



11月5日、当院で秋祭りが開催されました。多くの方々の参加を得、好評のうちに終了しました。緩和ケアチームはボランティアさんの協力のもと、バルーンアートの体験とオレンジバルーン・メダカのプレゼントでした。他の催し物では、体験コーナー(内視鏡操作、心臓カテーテル操作)や健康チェック(骨密度・血糖値・体力年齢)が人気を集めていました。自分の部署の仕事を一般の方に理解していただける良い試みだったと思います。緩和ケアチームも次回は緩和の仕事を理解していただける体験を提供できたらいいかでしょうか？緩和の仕事で体験できることとして「癒し」の提供は？ハンドマッサージ等、道具不要で短時間ででき、人に喜ばれることを学べるなら関心をもっといただけるのではなどと考えています。

来年も緩和ケアチームで参加し盛り上げるお手伝いができるばと、来年の開催が決まる前から考えています。



第5回

緩和ケア勉強会のお知らせ

日時：12月14日(木) 18:00~19:30

場所：中央診療棟3階講堂

内容：うっ血性心不全の緩和ケア

